

下松市立公集小学校

令和2年5月1日現在の児童数は795人。
 下松市の南側に位置し、校区内は新興住宅が増え続けています。
 児童数の増加に伴い校舎の増築が進み、現在は第5校舎まであり、一学年平均4クラスですが、今年の1年生は5クラスと、まだまだ増加傾向にあります。



S先生作
 オリジナル
 キャラクター
 イーまるくん



保健室紹介

下松市立公集小学校は、県採用と市採用の養護教諭が在籍し、複数配置にて保健室を経営されています。
 市内の小学校や下松市教育委員会にも勤務され経験豊富なS先生、若いK先生は本校勤務2年目ながらにしてS先生との息もピッタリ。日々、S先生から執務のスキルをどんどん吸収され、ぐんぐん成長中です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3月から急遽始まった臨時休業、下松市内の小中学校では、5月下旬に長い休業期間がようやく明けました。
 臨時休業明けからの保健室では、1日平均40~50件の来室があり、「すりきず」「打撲」等のちょっとしたけがでの来室と、ほぼ同じ数ほどの「頭痛」「腹痛」等の体調不良での来室があったそうです。
 5月病がずれ込んだかと感じられる程、6月の来室がとても多くあり、一日の来室数が100件を超えた日もあったとか・・・。
 養護教諭が複数配置だったからこそ、何とか乗り越えることができた、複数配置の強みを実感しておられました。

「イーまる」な言葉を互いにかけて思いやりの気持ちを育む取組を全校を挙げて行っています。
 今年度は児童会活動にて「Eくん」のキャラクターを募集しているそうです。キャラクター募集のポスターには、養護教諭S先生が描かれたイーまるくんが華を添えていました。
 どんなことにも楽しく前向きに取り組まれるS先生の自画像に見えてきます。

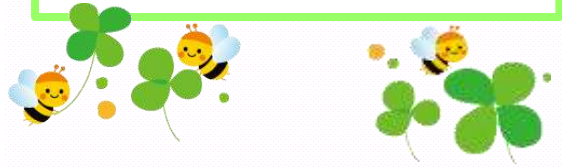
保健室を取材させていただきませんか？
 ドキドキ・・・。

うちの学校で良かったら、どうぞ！

今回は新型コロナウイルス感染症の関係から訪問取材ではなく、メールやお電話等で資料や情報をやり取りさせていただきますが、大丈夫でしょうか？ドキドキ・・・。

どんな資料をお送りしましょうか？

感染症予防対策や保健室のレイアウト等で、先生方の思いや工夫をお聞かせください。



保健室のレイアウト

保健室近くの階段下は、けがの手当てを行ったり、早退待ち児童の待機場所としたりと、マルチに活用。
保健室とのゾーニングを図り、感染予防対策がとれる構造。
ソファ使用後の消毒で、衛生保持。

ソファ

保健室への入室は、ソーシャルディスタンスが保てるよう足型表示や椅子を配置。
朝の検温を忘れた児童は、非接触体温計にて計測後、ミニ短冊に記録し、連絡帳に貼りつけられるサイズを配付。また、保健室に記録が残るよう一覧表へも記録。



1年生の教室へ

* 普段は閉め切り

消毒液等
衛生材料
保管場所

仕切りがあり
落ち着いて処置
できるスペース。

糖尿病児童対応スペース
血糖値測定やブドウ糖を保管。

保冷剤
預かりの薬
補食用ジュース

健康診断事前調査票
健康診断票
けんこうカード

冷蔵庫
引き出し
薬品
棚

嘔吐物処理
セット

救急セット

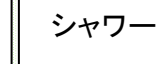
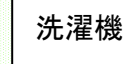
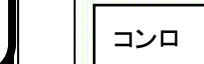
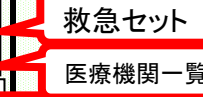
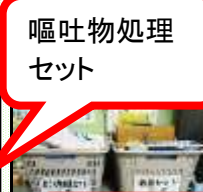
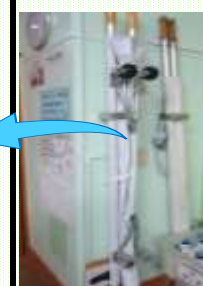
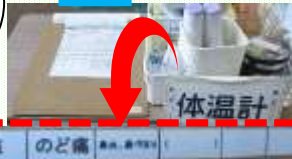
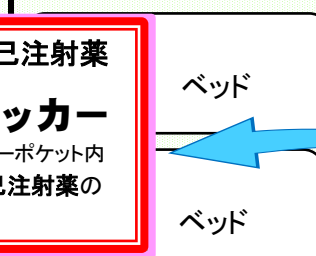
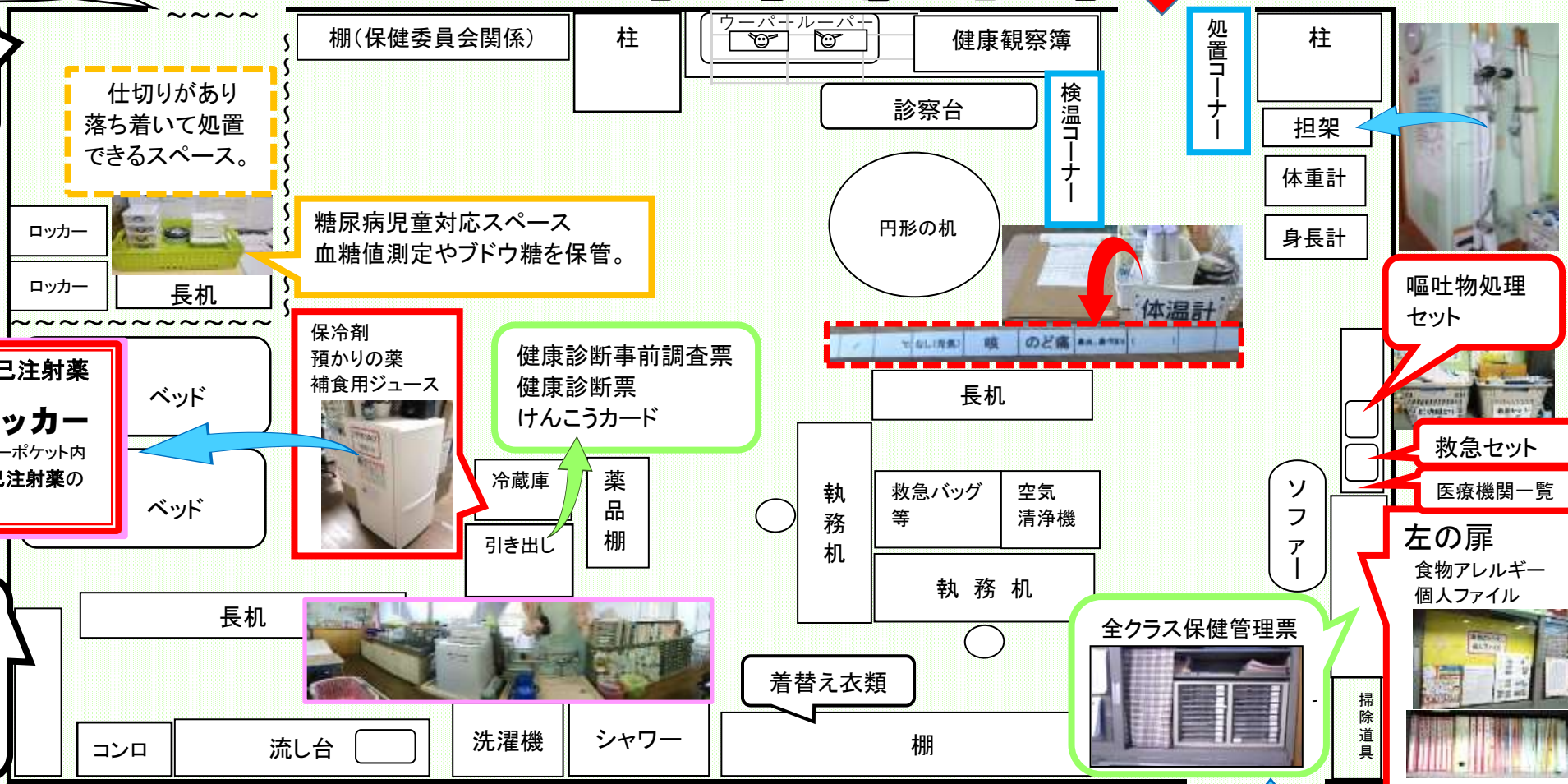
医療機関一覧

左の扉
食物アレルギー
個人ファイル

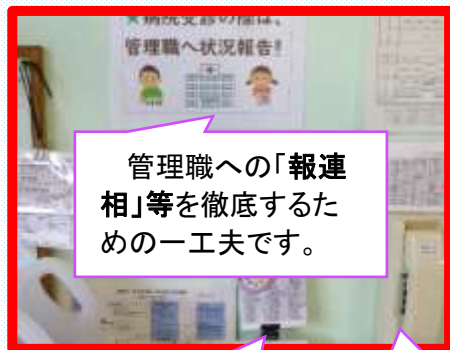
全クラス保健管理票

着替え衣類

中庭への出入口



お仕事のアイデア



管理職への「**報連相**」等を徹底するための一工夫です。

外線電話

校内電話



進行中の執務は、バイダーにまとめ、わかりやすく表示されています。



保健室のアイドルはウーパールーパー！
落ち着いたシックなお肌の「よしお」と、
ピンクの透明感あるお肌の「ひろみ」さん。

来室対応の分担は特にされていないとのことでしたが、
休み時間になると次々にやってくる児童の対応を、2人が
それぞれに当たられているそうです。

それぞれが対応した内容や得た情報は、その後どちら
が対応しても大丈夫なように、その都度共有することを心
掛けておられるとのことでした。

日々多くの子どもたちが来室する中で、情報を共有する
ことは「言うは易く行うは難し」というところですが、情報の
連携がきめ細かになされていることで、養護教諭複数配置
の強みを最大限に生かされている保健室だと感じました。



年度始めに生徒指導部から
出される遊具の遊び方を表示、
けがの要因やけがの予防指
導に活用されています。

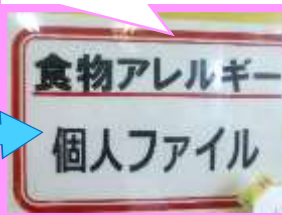


「立派な足型」は何のため？
昇降口が4カ所あることから、早退
する児童の靴を一時的に置くための
「足型」イラスト付き段ボールでした。



緊急対応セット
嘔吐やお漏らしの対応
セットをカゴの下に配置。
その上に救急箱やティッ
シュ、膝掛けを置き、全校
集会等にお二人各々が持
参され対応されるそうです。

目に付く表示の仕方で、
緊急時に誰もが取り出し
やすくされています。



窓に貼られた下松市の公式キャ
ラクター「くだまるくん」が、「Look！」
とありますが…。

これは、身体測定の時に、子ども
たちが「くだまるくん」を見ることで、
真っ直ぐ前を向き、姿勢が整えられ
正確な身長が測りやすくなるための
表示だそうです。

確かに！何か注目すると自然
と良い姿勢ができやすいです。

保健室出入口



処置の場所を出入口側へ移動

検温コーナー
毎朝の検温が必
須となり、検温を忘
れた児童の対応
セット。

処置コーナー
レターケースに処置で
使う衛生材料をわかりや
すく収納した教職員の誰
もが使いやすいセット。

こちらのソファは、新型コロナウイ
ルス感染症対策を取る前に、ここで来
室児童の対応をされていたそうです。
現在では、保健室出入口や階段下
にあるソファへと対応する場所を変
え「ゾーニング」を図っておられます。



感染症予防対策

熱中症 + 予防



マスク着用に伴い熱中症へのリスクが、これまで以上に高くなりました。

年度当初の臨時休業のため、通常ならば夏休みである8月初旬も通常の登校日となった今年。業間、昼休みの時間帯は、暑さ指数も「**嚴重警戒**」「**危険**」となる日が続きました。

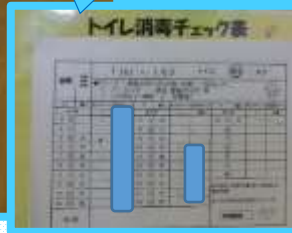
例年以上に熱中症へのリスクを全校児童が意識できるように、全校が必ず通る場所(給食配膳室付近)に、今日の暑さ指数を表示したり、放送で外遊びの中止と室内遊びへの切り替えを呼びかけたりと対策をされたそうです。



昇降口が4カ所あるため、保護者等の来校対応に、保健室から手指消毒アルコールと、手指消毒への協力を呼びかける表示を準備し、対応をされています。



担当学年で清掃と消毒をチェックし、トイレの衛生環境を保持しています。

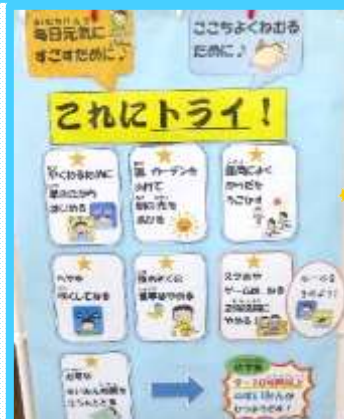


児童保健委員が休み時間に校舎を回り「まどをあけようマン」を見せて、教室の換気を呼びかけています。「まどをあけようマン」も、S先生が描かれたオリジナルキャラクターです。



今年度は身体測定時の保健指導も密集を避けるため、身体測定に来室した児童へ見せる形に変更。移動式の衝立を2つ活用して、抵抗力を高めるポイントについて掲示。

目を引くレイアウトに、つついチャレンジしたくなる内容で、自分のこととして考えられる掲示の工夫が満載です。



少年写真新聞社「SeDoc」のイラストは見てわかりやすく使いやすいため、とても重宝されているそうです。



「るっくん」は、以前保健委員会が作ったオリジナルキャラクター。元気に過ごすためのコツをわかりやすく保健室内で教えてくれています。



手の洗い残し表示も、ホログラムで目を引くデザインです。

みんなでけんごをまもる